

ガザに関心を 栄で募金活動

名古屋YMCA

イスラエル軍の大規模攻撃を受けたパレスチナ自治区ガザの子供たちを支援しようと、名古屋YMCAの関係者らが二十八日、中区栄で募金活動をした。写真。

現地では、多くの子供を含めた市民らが学校などに避難している。「ガザYMCA」の約三十人のボランティアが食料や衣類の配給のほか、心のケアに取り組んでいる。この日は職員や高校生ら十三人が、プラカードを掲げて通行人らに協力を訴えた。

名古屋YMCAの加

藤明宏総主
事(五四)は

「時間がたつにつれ関心が薄れがちだが、心に傷を負った子は多い。息の長い取り組みが必要だ」と話した。

